

平成 19 年度予算 施策別概要

233 観光・交流産業の振興

- (主担当部：農水商工部観光局)
- 23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進 (農水商工部観光局)
 - 23302 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり (農水商工部観光局)
 - 23303 観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備 (農水商工部観光局)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 活発な観光・交流産業の活動を通じて、「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある、個性的な地域づくりを進め、地域に誇りと愛着を持ち、豊かな生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	観光レクリエーション入込客数	目標値	2010	3,400万人
			2007	3,320万人
		現状値		3,292万人

1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数について、全国観光統計基準に基づき集計した推計値(農水商工部観光局観光・交流室「観光レクリエーション入込客数推計書」)

県の取組 目標項目 (副指標)	観光客満足度	目標値	2010	75.0%
			2007	75.0%
		現状値		73.1%

< 現状と課題 >

- ・三重県の観光については、近年、2004年(平成16年)の熊野古道(伊勢路)世界遺産登録、2013年(平成25年)の伊勢神宮式年遷宮に向けた諸行事の開催(2005年 平成17年 ~)など全国的に注目を集めているほか、中部国際空港の開港(2005年 平成17年 2月)、中国全土への団体観光ビザ発給開始(2005年 平成17年 7月)等の環境変化も加わり、国内外からの誘客を増大するチャンスが高まる一方で、激化する国内外の観光地間競争への対応を迫られる状況にあります。
- ・三重県がこのチャンスを生かし、厳しい観光地間競争に勝ち残り、観光・交流の振興を地域活性化につなげていくためには、訪れる人の視点と地域住民の視点の双方にたった地域づくり、観光振興と地域づくりの一体化、魅力ある地域を創りあげる「総合力」の発揮が重要な鍵となります。
- ・このため、2004年(平成16年)11月に策定した三重県観光振興プランに基づき、多様な主体と協働した総合的な取組を着実に展開していくことが必要です。

<平成19年度の取組方向>

三重県観光振興プランに基づき、「民間が主役、行政は支援」の基本姿勢に立ち、三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略、多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり、観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備を推進していきます。特に、地域がそれぞれの観光戦略に基づき展開する主体的、意欲的な取組を重点的に支援し、観光振興と地域づくりの取組の一体化を進めることにより、強じんて持続可能な観光構造の構築に向けた取組を展開し、観光・交流産業の振興ひいては地域全体の活性化につなげていきます。

三重県観光販売システムズや社団法人三重県観光連盟等の民間のノウハウを積極的に活用して、本県の魅力を県内も含めた、首都圏・関西圏・中部圏・海外等、エリアごとの情報発信、誘客戦略を展開していきます。

観光プロデューサーのノウハウの活用等を通じて、「こころのふるさと三重」づくりの取組と連携し、地域資源を最大限活用した魅力づくりやひとづくり、快適空間・交流空間づくりなどに取り組み、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりにつなげていきます。

<主な事業>

(重)「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業

【基本事業名：23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進】

予算額： 87,391千円 142,000千円

事業概要：式年遷宮や熊野古道等の資源を最大限に生かして、首都圏、関西圏、中部圏、県内等エリア別の情報発信・誘客戦略を展開していきます。

特に、人口集積及び情報発信機能が集中している首都圏では、積極的・効果的な情報発信を行います。

(重) 外客誘致推進事業

【基本事業名：23301 三重県観光の新たなイメージづくりと情報発信・誘客戦略の推進】

予算額： 46,051千円 28,515千円 *

事業概要：多くの外国人観光客が三重県を訪れていただくため、誘客が期待できる東アジア地域を主なターゲットとして、具体的な旅行商品の造成や誘客に結びつく働きかけを行うとともに、三重県の魅力を発信していきます。

(重) 三重の観光プロデューサー設置事業

【基本事業名：23302 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり】

予算額： 10,992千円 10,992千円

事業概要：観光プロデューサーを配置し、そのノウハウを最大限に生かして、地域の観光商品づくりの取組を支援するとともに、観光商品化のプロセスを通じた人材育成やノウハウの蓄積、交流を進めます。

(重) 魅力ある観光地グレードアップ支援事業

【基本事業名：23302 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり】

予算額： 37,421千円 23,272千円

事業概要：魅力ある観光地に必要な、快適性・利便性・話題性を創出するため、地域が主体的に行う観光の魅力づくりの取組を支援します。

(重) 熊野古道シャトルバスの活用による熊野古道の魅力増進事業

【基本事業名：23303 観光客の快適性の向上に資する社会基盤整備】

予算額： 12,204千円 12,204千円

事業概要：遠隔地等からの主要玄関口となる名古屋と全ての熊野古道の登り口、拠点施設となる熊野古道センターを結ぶシャトルバスを地域等と共同運行し、旅行者の利便性・快適性の向上に寄与します。さらに、シャトルバスを活用した観光商品を地域と協働して造成し、交流人口の増大と古道を生かした地域づくりを進めます。